

「一人是龍、数人成虫」 中国人は組織人でもよく個人で活動し、日本人は組織を大事にします。「一人是龍、数人成虫」は一人であれば龍のように大きな力を発揮するが、群れになると互いに足を引っ張り合い、力のない虫のように何事もできないという意味です。

「一帆風順」 中国人は船の帆が好きで、会社などに多く飾っています。
なぜなら、中国では成功するためには、風に乗ることが大切と考えられているからです。
日本の「順風満帆」と同じ意味で、何事もスムーズに進むという意味もあります。

「飲水不忘挖井人」 水を飲む時に、井戸を掘った人のことを忘れてはいけないという意で、ある物事に先鞭を付けた人へのたとえとして使われています。
(日中国交正常化を主導した田中角栄の評など)。



「你吃饭了吗？」 中国では、こんにちわなどの挨拶言葉にニーチファンラマ？という言葉をよく使います。これは、文化大革命の時に食べ物に困り、食べれなかったことを思い出し、ちゃんと食事をしているか？との語源があります。

「燕雀安知鴻鵠之志」 ツバメや雀のような小さな鳥には、大海をわたる鴻鵠のような大きな渡り鳥の気持ちはわからない。大きな志をもった人間の気持ちは、小さな志しか持たない人間にはわからないという中国に伝わる諺

EPISODE

世界215国の人と商売をしているが、日本ほど細かく、また、厳しく値段も値切ってくる国はない。製品のみならず、梱包している箱にまで、汚れている。破損しているなどの苦情を言ってくる。

あそこのエリアに、4期を作ろうか迷っているといていた1年後には、実際に5階立ての何万軒もの展示場が出来上がっている。

これまで中国人は、英語、日本語、韓国語、スペイン語など、多くの外国語を学ぼうと努力してきたが、これからは、中国人と提携することにより、チャンスをつかもうとする外国人が中国語を学ぶ時代に来ている。従い、中国人は外国語を学ぶ必要がない。

義烏市の呉書記が来日中に、あなたの先輩の書記が重要な決断を繰り返し、義烏市の現在の礎を築いた。あなたが書記の時代に、日本との関係を深め、義烏の商品は品質が高いという付加価値を高め、10年後には、日本人なら誰もが知っている義烏の街にしていきたいと思います。と言うと、私はそんなに待てない。2~3年でそれを実行しようと言われた。